

あじさいグループ新規事業立ち上げに伴い。
64歳以下の障がい者の方 新規大募集!! 限定20名
 定員と残り次第締め切りとなります。

今回2つの作業を、重点的に大募集!!

●うなぎ弁当をはじめとした**お弁当の製造**
 ●コイン洗車場での**車の洗車作業**

●賃金/時給800円
 ●休日/日曜日・祝日・他休日あり
 ●勤務時間/6時間勤務—AM6:00～PM1:00
 4時間勤務—AM9:00～PM1:00

●賃金/時給800円
 ●休日/日曜日・祝日・他休日あり
 ●勤務時間/6時間勤務—AM9:00～PM4:00
 4時間勤務—AM9:00～PM1:00

この他にも、様々な軽作業も選択して頂けます。ヤル気を活かしてチャレンジしてみませんか?

あじさいグループの安心ポイント

- 1 ご自宅から職場までの送迎あり(無料)
 (送迎車が自宅前までお迎えに行きます。)
 足の不自由な方・交通手段がない方ご安心下さい。
- 2 生活の安定(給料が約110,400円支給)
 ※1日6時間23日勤務の場合
 ●お弁当の製造●車の洗車以外の軽作業は、時給が異なります。
 1日6時間までの勤務がOK(4時間勤務もOKです)
 1ヶ月23日勤務した場合のお給料 **約110,400円**
 ※1日6時間23日勤務の場合
- 3 新しく入所された方が早期に馴染める様に食事会や各種イベントを随時開催。

お問い合わせはお気軽に
あじさいの
 この求人に関するお問い合わせは **TEL.086- -**
 ●お問い合わせ時間/月～土曜日(9:00～18:00) 採用担当まで
 親切・丁寧な対応を心がけておりますので、是非お気軽にお問い合わせ下さい。

「按摩マッサージ指圧師」の資格をお持ちの障がい者の方
高年齢の方々を対象にした、訪問マッサージのお仕事で、資格を活かして活躍しませんか!!

●勤務内容/訪問マッサージをお願いします。
 ●休日/日曜日・祝日・他休日あり
 ●勤務時間/AM9:00～PM5:00
 ●待遇/各種保険あり、通勤時送迎あり

月給/約250,000円～
 ※当社の定めも規定の日数、時給を勤務した場合

訪問先へは、送迎車にて送り迎え致しますので、ご心配なさらず、安心してお申込み下さい。

施設職員の方、同時大募集!
送迎車のドライバーさんと エリアで勤務希望の職員さんを緊急募集中です。

職業指導員
 ●賃金/月給15万円～(時給の場合/時給800円～)
 ●勤務時間/8:30～17:30
 ●休日/日曜・祝日、他隔週1日休日あり

生活支援員
 ●賃金/月給15万円～(時給の場合/時給800円～)
 ●勤務時間/8:30～17:30
 ●休日/日曜・祝日、他隔週1日休日あり

送迎車運転手
 ●時給/760円～(60歳以上の方も歓迎)
 ●短時間勤務も可
 ●休日/日曜・祝日、他隔週1日休日あり

入社祝い金 50,000円 進呈!!
 ※支給は入社後6ヶ月後となります。

あじさいグループが新聞折り込みした広告

■「A型事業所 大量解雇の今」

2018年3月5日現在

◆倉敷市で廃止された事業所

①:「一般社団法人あじさいの輪」:岡山県倉敷市片島町5-7

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| ・事業所名: あじさいの輪: 岡山県倉敷市片島町5-7 | 業務内容: 軽作業 |
| あじさいの風: 岡山県倉敷市沖新町23-1 | 業務内容: 製パン製造 |
| あじさいの絆: 岡山県倉敷市西富井443-1 | 業務内容: 軽作業 |
| あじさいの道: 岡山県倉敷市片島町65-1 | 業務内容: 軽作業 |
| (あじさいの丘: 岡山県倉敷市片島町972-4 | 業務内容: 軽作業・・・6月末閉鎖) |

②:「株式会社あじさいの友」・・・休眠状態・・・代表取締役:江草寛幸氏

あじさいの里:岡山県倉敷市片島町5-7

高松市に二事業所

解雇者数:59名(高松市)

※:「輪」「風」「絆」「道」「里」の5事業所の一斉解雇者数:224名(倉敷市)・・・7月末

◆民事再生を申請し、5月1日までに再生計画案を地裁に提出する予定の法人

①：「一般社団法人あじさいの輪」・・・代表理事：江草寛幸氏 理事：楠田崇氏 理事：市川孝子氏

◆民事再生手続きの廃止決定（2月28日）を受けた法人

②：「株式会社プロジェ」・・・代表取締役：江草寛幸氏・・・あじさいの輪が67%出資

- ・営業所：焼き肉ざんまい：岡山県倉敷市松島1091-1 業務内容：肉加工
- うな寿倉敷本店：岡山県倉敷市白楽町382-3 業務内容：ウナギの加工
- うな寿美観地区店：岡山県倉敷市本町6-17 業務内容：ウナギの加工
- 養殖事業（第一）：岡山県倉敷市西阿知町新田24-1 業務内容：養鰻
- 養殖事業（第二）：岡山県倉敷市西阿知町西原790-1 業務内容：養鰻

◆民事再生中の法人

③：「株式会社あじさいの花」・・・代表取締役：市川孝子氏 取締役：江草寛幸氏、楠田崇氏
あじさいの輪が100%出資

- ・事業所名：あじさいの夢：岡山県倉敷市水島南幸町3-60
- あじさいの森：岡山県倉敷市松島1093-8ルネス21 1階
- ・利用者数：約150名（現在も運営中）

◆福山市で破産した事業所

・「一般社団法人しあわせの庭」・・・破産・・・広島県福山市曙町5丁目30番15号 代表理事：山下昌明氏

・事業所名：しあわせのパン工房：広島県福山市曙町5丁目30番15号

しあわせの庭 鵜飼事業所：広島県府中市鵜飼町531-3

※：二事業所の一斉解雇者数：106名（福山市）・・・11月17日



福山市「一般社団法人しあわせの庭」曙事業所に止まっている倉敷ナンバーの移動販売車

◆新たに廃止した事業所

・「株式会社フィル」・・・代表取締役：岡本健治氏・・・倉敷市真備町川辺字外神楽117-1

- ・事業所名：「しあわせ工房岡山事業所」「しあわせ工房総社事業所」「しあわせ工房福山事業所」・・・
- これら三事業所が2月末に廃止（廃止届は1月31日提出）
- ・利用者：54名のうち、上記三事業所から倉敷市の事業所に50名を送迎するとのこと・・・
- ・フィルの総利用者数：235名（1/31時点）

■【経緯】 2017年

- 6月下旬 あじさい関連の事業所で「整理解雇のお知らせ」が配られる 賃金不払いを避けるためと
- 6月29日 「一般社団法人あじさいの輪」の江草寛幸代表理事から倉敷市に、7月末をもって5事業所の廃止をする旨の通知。ハローワーク、労働基準監督署にも連絡あり。
- 7月18日 A型事業所「しあわせ村」の（定員60名 7月1日に指定・開設）利用者確認できず。（ハローワークには60名の利用者求人と、サービス管理責任者10名、支援員15名、事務員3名、送迎担当者15名の求人が出ていた。あじさい関連事業所廃止後の利用者の受け皿として準備か。
- 7月20日 第一回「利用者の再就職に向けた合同説明会」42施設・68名参加
- 7月22日 倉敷市：「当初から赤字経営だった」（市議会保健福祉委員会・21日）
- 7月24日 倉敷市：再就職への便宜提供が不十分、受け入れ先を見つけるようあじさい側へ勧告する
28日までに改善報告書の提出を求める
163名が再就職希望、その内13名は決まる（あじさい系列事業所へ）
県：県議会常務委員会で、「保健所での相談や再就職支援に取り組む」と（市外利用者：26名）
- 7月25日 第二回「利用者の再就職に向けた合同説明会」開催
- 7月26日 岡山県・倉敷市が「あじさいの輪」「あじさいの友」の兼用事務所の立ち入り調査
- 7月27日 国・岡山県・倉敷市が //
- 7月28日 「あじさいの輪」「あじさいの友」が市に改善報告書を提出
厚労省：「事業の廃止手続きの留意点」を自治体に通知
- 7月31日 5事業所・224名解雇（高松：59名）、131名受け入れ先が未定（失業手当受給希望者）
職員：49名も解雇 倉敷市：「報告書が不十分」とあじさい側に通知
- 8月1日 厚労省・岡山県：「障害者の受け入れ先を見つけるよう勧告」「全ての再就職希望者を支援」
8月31日までに改善報告書の提出を求める
- 8月3日 A型事業所「しあわせ村」（定員60名）が倉敷市に廃止届を提出（利用なし）
- 8月7日 ハローワーク倉敷中央、倉敷アイビースクエアで雇用保険の失業給付合同受付会
解雇者140名（職員含む）参加 受給期間：原則・離職翌日から1年
- 8月9日 ハローワーク倉敷中央と倉敷市は、初の合同就職面接会（47名参加）を開催。
名古屋市の「障がい者支援機構」：愛知・埼玉・千葉・大阪で6事業所：140名＋職員30名解雇
名古屋市：廃止届を受理しないのは難しい・・・再就職先が固まるまで受け取らないと
「行政指導」を行う
- 8月21日 あじさいから報告書を市に提出、就労希望者の内、A型：22名、B型：2名、一般：3名
- 8月23日 山陽新聞1面、あじさいグループは倉敷市と高松市で7事業所・約280名解雇、
市議会保健福祉委員会・生水副市長：「4月に制度が変わったことで今回の事態に・・・」
「公費が適正に使われていたかチェックを」→「県と連携して明らかにしていきたい」
倉敷市生活自立相談支援センターの支援員を1名増、6名体制にした
- 8月29日 伊東倉敷市長：「最後のひとりまで希望が叶うよう、事業所に引き続き指導していきたい」
- 8月30日 市：「再就職が決まったのは25日時点で40名（内訳はA型：29名、B型：4名、一般：7名）
- 9月3日 山陽新聞・検証3 障がい者大量解雇一か月（萩原義文・就労継続支援A型事業所全国協議会副理事長）
「悪しきA型」：補助金目当て、「数年前から全国で問題、運営会社の実態解明が不可欠」

「悪質な業者は事業所を肥大化させた末に倒産させ、受け皿となる別の事業所を作る・補助金ビジネスを許してはならない」

- 9月5日 山陽新聞・検証4 わに診療所（和辻秀浩医師・精神科医） あじさい利用者15名が通院中聞き取り調査 「何を感じ、要望しているか」 「障害者への虐待行為」である。彼らは4つのものを失った：「人間関係」「居場所」「収入」「人としての誇り」
- 9月15日 「一般社団法人あじさいの輪」「株式会社プロジェ」「株式会社あじさいの花」の三社が岡山地裁に民事再生手続開始申立書を提出。
申立人代理人弁護士：小林裕彦法律事務所（岡山市北区弓之町）の小林裕彦弁護士以下9名。
三社の負債総額：14億8千万円。
- 9月16日 倉敷市の監査で、あじさい関連事業所で、障害者以外が作業の大部分を担う事業の運営に関していたことが判明。市の規則に抵触することが判明。
うなぎ養殖場と飲食店の一部を所有・賃貸し、両施設の多くの作業をあじさいグループが運営していた事業所の障害者以外で行い、更に両施設とも作業所として市に届け出ていなかった。
法律上、厚労省の法令と同じく、「A型事業所の運営者が社会福祉法人以外である場合は『専ら社会福祉事業を行う者でなければならない』』となっている。会計処理上規則に抵触する点あり。
- 9月19日 市議会保健福祉委員会 8月10日の監査結果報告
①：ウナギ養殖場・飲食店は作業所として市に届け出ておらず、運営していたA型事業所で就労する障害者以外が多く作業を行っていた
②：閉鎖した5事業所の会計が一括処理され、事業所単位での経理を求める市の規則に抵触
障害者と職員の人件費会計一緒になっており、厚労省の通知に沿っておらず
③：本業の生産活動では、利用者の賃金が賄えていなかった実態も問題とした
→ 「責任者が不在でこたえられない」（グループ本部）
- 9月25日 「あじさいの輪」と2社のグループ企業が岡山地裁に民事再生法の適用を申請し、地裁から監督命令を受けていたことが判明（9月15日に再生手続き開始申立書が提出）
・申立人：一般社団法人あじさいの輪 代表理事 江草 寛幸氏 （2013年設立）
代理人弁護士：小林 裕彦法律事務所 小林裕彦弁護士 以下9名
・グループ企業：①：(株)プロジェ：江草氏代表取締役 2013年設立 資本金750万円
ウナギ養殖場や飲食店（焼き肉店・うなぎ料理店2店舗）を経営
経営コンサルティングも手掛ける



②：(株) あじさいの花：市川孝子代表取締役 2014 年設立 資本金 1000 万円

- 9 月 26 日 岡山県集団指導 厚労省係長：「あらゆる手段で経営を見直してほしい」
「障害者のための事業になっていなければ最終的に撤退してもらうしかない。
だが、頑張っているところはきちんと支援する」
- 9 月 27 日 伊原木隆太県知事 記者会見
「これから入ろうとする事業者に、前よりは高いハードルを課すのは当然」
→ 運営基準を厳格化するだけでは副作用も起きかねない
- 9 月 30 日 山陽新聞 「(株) プロジェ」の開業支援を受けた他の A 型事業所の責任者から取材
・「障害者集めを最優先にした補助金目当ての経営で、事業継続が難しい」
・開業コンサルタント費：880 万円 インターネットやフランチイイベントで集客
・以下の 3 点を新聞折り込み広告で訴える
・一日 6 時間勤務：月収が 10 万円前後、特開金を満額（4 時間では短時間減産あり）
・ノルマなしの軽作業
・送迎付き 更に入社時の特典「お祝い金 3 万円」
- 10 月 2 日 倉敷市内で「あじさいグループ」の債権者説明会あり 負債総額：14 億 8 千万円
（「輪」：8 億 6 千万円 「花」：3 億 2 千万円 「プロジェ」：2 億 9 千万円）
・「プロジェ」は焼き肉店とウナギ料理店の機材リース料などがかさんだ
・「輪」と「花」は収益を上げるために始めたウナギ養殖やコイン洗車場への設備投資が響いた
・江草寛幸氏：「解雇した障害者と職員に多大な迷惑をかけ、申し訳ない」
楠田崇氏：「事業計画がずさんで無責任と言われてもしかたがない」と謝罪
市川孝子氏：「雇用継続を一番に考えたい」
※：楠田崇氏、市川孝子氏の名前が初めて出る。楠田氏は「一般社団法人あじさいの輪」の理事、
「株式会社あじさいの花」「株式会社プロジェ」の役員である。
市川孝子氏も同様である。
- 10 月 6 日 県と市が厚労省に共同提案「社会福祉事業以外に資金を投じることを制限するよう」省令改正を
との要望書を、伊原木知事と生水倉敷副市長が加藤勝信厚労相へ手渡す
- 10 月 20 日 岡山地裁が「輪」「花」「プロジェ」の民事再生手続きの開始を決める
・代理の弁護士によると、「事業を継続しながら、来年 2 月をメドに再生計画案をまとめ、地裁
に提出。その後、債権者集会を開いて計画案を決議し、同意が得られれば計画を遂行、否決
の場合、通常は破産手続きに移行すると
- 10 月 25 日 「障がい者ふれあい就職面接会」（ハローワーク倉敷中央主催） 過去最多 145 名参加
- 10 月 26 日 倉敷市議会保健福祉委員会 「A 型利用者数が計画を上回っている、新規事業参入は困難」
・利用者数：2016 年度：893 名／月 障害福祉計画：620 名の 1.4 倍
・厚労省は 2017 年度から、総量規制を導入・・・
- 10 月 27 日 緊急シンポジウム 「A 型事業所で今、何が起きているのか」 120 名参加 岡山市内
・きょうされん研修会（赤松英知氏常務理事）
- 11 月 9 日 福山市・府中市の「一般社団法人しあわせの庭」の事業所で、突然利用者に「お詫び及び告知」
なる文章が配布される。「・・・思い切った経営改善が必要・・・労働条件の変更・・・社会保
険・厚生年金の資格喪失・・・ご了承くださいますようお願いいたします」

- 1 1 月 1 2 日 「あじさい問題を考える会」設立集会のお知らせ（山陽新聞にて）
・「共生社会の実現に向けた地域全体の課題として考えていきたい」
- 1 1 月 1 4 日 楠田崇氏、小林裕彦法律事務所の石井一也弁護士より「あじさい問題を考える会」代表の多田伸志氏に電話あり。
・二点の申し入れ
①：会の名称に関して、「あじさい問題」という言い方は「あじさいの花」利用者が不安懸念持っている
②：今後の利用者の混乱・動揺について、影響が出ぬよう
- 1 1 月 1 5 日 「あじさい問題を考える会」設立集会 くらしき健康福祉プラザ プラザホールにて
- 1 1 月 1 6 日 福山市にある「一般社団法人しあわせの庭」が 1 7 日付けで 1 1 2 名の利用者の解雇をする旨を福山市に電話連絡。（後に修正：1 0 6 名）
「一般社団法人しあわせの庭」 山下昌明代表理事
・福山市：曙事業所（6 7 名）・・・幸せのパン工房（フィルと同じ看板、車）、軽作業
・府中市：鶴飼事業所（4 5 名）・・・パソコン入力、軽作業
曙事業所（福山市）のサビ管さえも知らされず、利用者も混乱
- 1 1 月 1 7 日 府中市の鶴飼事業所の利用者は、帰宅してテレビニュースで自分の通う事業所の破たんを知る。福山市、山下代表（ならびに小林裕彦法律事務所の弁護士 3 名）にて第一回説明会開催。
- 1 1 月 1 9 日 府中市にて初回（午前中）、福山市にて第二回説明会開催。1 0 月、1 1 月分賃金が支払えないと通告（解雇予告手当も）。
- 1 1 月 2 9 日 倉敷市は「事業所指導室」を 2 0 1 8 年 4 月に新設する方針を示す。
- 1 2 月 6 日 倉敷市は「中小企業診断士」の資格を持つ職員 1 名を障がい福祉課に配置すると明らかにする。福山市の「一般社団法人しあわせの庭（山下昌明代表理事）」は、破産手続開始申立書を広島地裁福山支部に提出。申立代理人弁護士：小林裕彦法律事務所（岡山市北区弓之町）の 9 名の弁護士。負債総額：2 億 8 千万円。
- 1 2 月 8 日 広島県と福山市は、賃金未払い中の元利用者救済のため、事業所に支給予定の給付金 1 0 0 0 万円超を直接分配する方針を調整。未払い賃金などの個人データの提出を事業所に命令。
「一般社団法人しあわせの庭」、広島地裁福山支部から破産手続きの開始決定を受ける。
- 1 2 月 1 1 日 「一般社団しあわせの庭」の負債額、2 億 8 千万円、債権者集会は 3 月 9 日
- 1 2 月 1 2 日 1 2 月議会、伊東香織市長、中小企業診断士 1 名の配置・1 5 日付について、「A 型事業所が事業を始める際の書類審査の精度の向上」「市内 3 8 カ所の A 型のうち、実質赤字の 3 0 カ所から提出された経営改善計画をチェック・助言も積極的に行いたい」
2 0 1 8 年 4 月に新設予定の事業所指導室（障がい福祉課内）
- 1 2 月 1 5 日 1 2 月市議会にて、A 型事業所の財務諸表の公開を 2 0 1 8 年度に向けて準備中と
市の指導監査の権限について「事業所の運営基準に違反があった場合などで、法人の財務諸表の提出を求めて検査しており、市は法人に対しても権限を有していると認識している」
・福山市の「しあわせの庭」から解雇された利用者 1 0 6 名のうち、再就職が決まったのは 1 7 名（A 型：1 名、B 型：8 名、一般：8 名）
- 1 2 月 2 0 日 「一般社団法人しあわせの庭」、未払い賃金などの個人データの提出をするよう広島県が行った命令を無視。破産管財人は「未払い賃金の立て替え払い制度による対応を優先している」と
- 1 2 月 2 6 日 「一般社団法人しあわせの庭」の破産管財人から「厚労省所管の独立行政法人・労働者健康安

全機構（川崎市）による未払い賃金の立て替え制度を利用し、事業者に代わって未払い賃金の8割（約2千万円）を支払う手続きに入った」との情報あり。順調に進めば来年1月中に支払えるとのこと。

- 1月27日 「あじさい問題を考える会」語り合う会を開催。「あじさい問題から考える会」に名称を変更
- 1月28日 「一般社団しあわせの庭」利用者に郵便で「未払賃金の立替払について（破産管財人から）」と福山労働基準監督署から、「未払賃金の立替払手続きに係るご案内と上申書提出依頼について」が届く。福山労基署は刑事罰を求めることを検討していると明記されている。

■ 2018年

- 1月1日（月・祝）倉敷市の第5期障害福祉計画（18～20年度）素案にA型事業所の利用者数を約200名（2割）減らして652名に抑え、その後も抑制する意向が固まったことが分かった。
「今、A型事業所で働いている障害者のうち、3割程度が適正を欠いているとみられるが、将来の新規需要を考慮し、2割減が妥当」（障がい福祉課）と判断。
18年度のB型利用者を17年9月比で310名（3割）増の1334名と見込んでいる。
- 1月7日（日） 「A型事業所利用者・職員相談会」を開催（「あじさい問題から考える会」主催）
- 1月10日（水） 株式会社フィル、倉敷市外の3事業所（岡山市、総社市、福山市）を2月末で閉鎖すると利用者に通告する。利用者約60名、今後は倉敷市内の3事業所への移行調整を進めるとのこと。フィルは2013年設立、利用者は昨年11月時点で約270名。社長（男性51歳）は「利用者の意向を踏まえて雇用を守ることを第一に考えていきたい・・・」と。
- 1月12日（木） 加藤勝信厚労大臣が記者会見で「指導を徹底し、こうした事例が起きないように対応していく」「社会福祉とは別の投機的な事業で失敗し、事業所の経営に悪影響を与えている」と。
- 1月15日（月） 岡山県はA型事業所の事業内容を紹介するセミナーや展示商談会を開き、経営支援を強化する方針を示す。対象は一般企業、2018年度の一般会計当初予算要求に1400万円を計上予定。
- 1月16日（火） 「倉敷地域自立支援協議会」が初めて、A型事業所の在り方を再考する会合（非公開）を開催する。倉敷市は2018年度のA型利用者を現状から2割減らす意向を固めており、協議を基に、利用者の適性判断の基準作りを検討するため。参加者はA型事業所の運営者ら、相談支援事業所職員、事業所を所管する市職員等約20名。倉敷市障がい福祉課は「大量解雇問題の背景には、A型事業所の役割や利用者像が、関係者にきちんと理解されていなかったことがあるのでは。再発防止に向け、障害者就労を支える事業所と行政がひざを突き合わせて話し合いたい」と。適性判断の基準作りについての結論は出ず、次回へ持ち越しとなる。
- 1月22日（月） 岡山県内94事業所が加盟するNPO法人・就労継続支援A型事業所協議会（岡山市）は、県内外の事業所に勤める利用者が移籍を希望してきた際には、積極的に受け入れるよう会員に緊急要請する。
- 1月31日（水） 「株式会社フィル」（倉敷市真備町川辺：岡山・広島県内に6カ所の事業所を運営、利用者235名）が、岡山市、総社市、福山市にある3カ所の事業所の廃止届を管轄の自治体に提出。いずれも2月28日付けで閉鎖。影響を受ける利用者は62名。47名は倉敷市内の事業所に送迎を計画中。この時点で15名は退職を余儀なくされる見込み。

岡本健治社長：「退職される方々には私どもの努力不足で迷惑をかけ、申し訳ない」

厚労省によると、フィルは厚労省によると全国最大規模のA型事業所、パンや野菜の販売をはじめ、ウナギの養殖、パソコンのデータ入力作業などを展開。事業スタイルは「あじさいグループ」や福山市の「しあわせの庭」とほぼ同じ、また「しあわせの庭」の設立や運営に関っていたとみられる。

- ・倉敷市は市議会の保健福祉委員会にて、新たな利用者の適性判断の厳格化に向け、4月からアセスメント（事前評価）の手続きを導入することを明らかにする。
- ・アセスメントは市が運営する就労移行支援と自立訓練の施設「市ふじ園」（同市有城）で行う。倉敷市民が対象。
- ・同園の社会福祉士らが、出勤時間の厳守や身だしなみ、指示された内容の理解、感情のコントロール、健康管理などを評価基準とする厚労省が作ったマニュアルを参考に取り組む。
- ・A型の適性がない人にはB型就労を促す。
- ・アセスメント期間は2週間から一か月、特別支援学校の生徒については5日間程度に短縮。
- ・アセスメント終了後には、本人、市、A型事業所、相談支援事業所などによる支援会議を開き、就労後の具体的な支援方法を話し合う。
- ・すでにA型事業所を利用中の市民については、相談支援事業所が改めて適性を判断する。

2月9日（金） ・倉敷市は来年度にA型事業所の経営健全化に向けて仕事開拓支援セミナーの開催を明らかにする。（予算案：410万円）

2月15日（木） ・あじさいグループ債権者説明会にて、「一般社団法人あじさいの輪」と「株式会社プロジェ」の民事再生を断念する方針を明らかにする。「輪」は飲食店を営む「プロジェ」に養殖ウナギを卸して収益を上げる予定だったが、プロジェの経営状況が厳しくなったため、養殖事業を第三者に譲渡することも検討中と。

・第三回「あじさい問題から考える会」を開催する。

2月26日（月） ・「株式会社プロジェ」が運営していた倉敷市のウナギ専門店「うな寿」閉店。貼り紙の連絡先は小林裕彦法律事務所。

3月5日（月） ・民事再生手続き中の「あじさいグループ」の内、事業を継続して150人を雇用している「株式会社あじさいの花」が、B型事業所を併設して一部の利用者を移す再生計画案をまとめ、岡山地裁の提出していたことが判明。送迎サービスもやめる予定。主な収入は月1千万円にあまりに上る補助金を見込み、施設外での新たな事業開拓や「花」が運営するコインランドリーとコイン洗車場での売り上げを想定。負債額は3億円、金融機関などの債権者に87.9%の債権放棄を求める。

「花と同時に民事再生法を申請した「一般社団法人あじさいの輪」は、ウナギ養殖場の事業譲渡を柱とする再生計画案を5月1日までに地裁に提出する方針で、コンサルティング会社「プロジェ」は地裁から2月28日に再生手続きの廃止決定を受けた。

3月9日（金） ・福山市で一斉解雇した「一般社団法人しあわせの庭」の山下代表理事参加で、債権者集会が広島地裁福山支部にて開催予定。

・「しあわせの庭」の破産手続開始申立書の中で、山下代表理事は、「株式会社フィル」の元社員で、同社代表取締役の岡本健治氏より頼まれて代表になった。平成29年9月頃まで資金管理や、経理は全てフィルに委託していた・・・と記載。